

科目名	ピアノ指導法講座Ⅱ	形態	演習	開講期	秋学期
担当教員	清水 皇樹	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

将来、学生がピアノを指導する立場になった時に必要な指導法をなるべく具体的に学ぶ。
 テクニク的な面はもちろん、楽譜の読み方、音楽的な解釈等まで指導出来るように導く。
 ロシアのピアノイズムの伝統を探り、これからのピアノ教育に活かす。

＝履修の条件と学習の方法＝

将来、ピアノ指導に情熱を感じる者。
 講義後半、模擬レッスンは学生が教師、生徒役に分かれ、よりよい指導法を模索する。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 レッスン聴講形式による講義 バロック～古典派
- 3回 レッスン聴講形式による講義 ロマン派
- 4回 レッスン聴講形式による講義 近現代
- 5回 ロシア・ピアノ教育における伝統について（ネイガウス流派について）
- 6回 ロシア・ピアノ教育における伝統について（補足）
- 7回 学生達による模擬レッスン その1
- 8回 学生達による模擬レッスン その2
- 9回 学生達による模擬レッスン その3
- 10回 学生達による模擬レッスン その4
- 11回 学生達による模擬レッスン その5
- 12回 学生達による模擬レッスン その6
- 13回 子供のための楽曲指導法について
- 14回 レガート奏法研究
- 15回 まとめ 将来に向けて

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況、授業に対する取り組み方、模擬レッスンにより総合評価する。

＝テキスト（必携）＝

特になし